

社会 サステナビリティの推進

基本的な考え方

持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るためには、井関らしい事業活動により、社会課題を解決し存在感を発揮することが、ステークホルダーとの信頼関係の構築につながるとともに、リスク低減・回避にもつながると考えています。

井関グループとして、社会からの要請や期待に応え、持続的な社会の発展に貢献するという社会的責任（CSR）を果たすために、重要課題を特定し推進しています（重要課題については、P.9をご覧ください）。

サステナビリティに向けた推進体制

井関グループでは、CSRに関する事項を審議する「CSR推進会議」を設置し、サステナビリティ活動の推進を図っています。CSR総括部門である総合企画部担当役員を議長とし、審議メンバーを経営会議メンバー、推進メンバーをCSR推進部門の各部門長から構成し、年2回開催しています。

CSR推進会議では、サステナブル経営に関するビジョンや戦略、井関グループが取り組む重要課題の見直しやCSR推進取組計画について審議するとともに、進捗を管理し、PDCAサイクルに基づくマネジメント活動を実践しています。重要な事項については経営会議や取締役会に上程し、決定しています。推進活動については、担当部門が主要取り組み事項の実行・進捗を管理し、関連する会議体で経営層への報告・評価を行っています。

主な関連する会議体

CSR推進会議	活動全般	広報連絡会
	お客さま（商品）	商品化会議 先端技術戦略会議 品質改善会議
	従業員	人材活性化委員会
	環境	環境企画グループ会議
	コンプライアンス	経営監理委員会

サステナビリティの浸透に向けて

事例 ①

従業員に井関グループの事業とSDGsの関わりについて理解を深めてもらうことを目的に、SDGs勉強会を開催しました。SDGsゲームや振り返りを通して、世界の状況や社会課題、それに対して井関グループとして貢献できることなどについてグループワークを実施しました。



事例 ②

従業員向けに井関グループのCSRについて学ぶ教育機会を設け、CSRの重要性や事業活動を通じた井関らしい社会課題の解決に向けた考え方や取り組みについて共有を図っています。購買担当部門での部内教育においては、サプライチェーンマネジメントの重要性について重点をおいた教育を行いました。

